

〈第 138 回〉銀行業務検定試験成績発表

法務 2 級、財務 2 級、税務 3 級、相続アドバイザー 3 級、
営業店管理 II が好成績

去る平成 29 年 10 月 22 日（日）に実施いたしました第 138 回銀行業務検定試験の成績結果が
でしたので、ご参考までに発表いたします。

■法務 2 級

「法務 2 級」の成績結果は、〔表 - 1〕のとおり
です。

応募者数 6,730 名中受験者は 5,471 名で、合格
者は 1,545 名でした。合格率は 28.24%、平均点
は 41.73 点で、前回（2017 年 6 月）に比べて、合
格率は 2.76 ポイント上回り、平均点も 1.53 点上
回りました。

最高点は 92 点では、佐藤悠歩さん（三菱 UF
J 信託銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

〈預金〉の分野は、〔問題 - 1〕偽造・盗難カー
ド預貯金者保護法で、択一正解率 95.16%・平均
点 8.14 点、〔問題 - 2〕相続預金の取扱いで、択
一正解率 93.31%・平均点 6.06 点と良好な結果で
したが、〔問題 - 3〕預金の差押えの競合では、
択一正解率 61.74%・平均点 3.53 点と低い結果と
なりました。この理由としては、〔問題 - 3〕は、
従来から受験者が苦手になっている傾向があるこ
とが挙げられます。

〈手形・小切手〉の分野では、平均点は〔問題
- 4〕手形の裏書が 4.76 点、〔問題 - 5〕手形の
不渡りと異議申立てが 3.50 点、〔問題 - 6〕盗難

に遭った自己宛小切手の取扱いが 3.05 点と、や
や低めの結果となりました。

〈融資〉の分野では、平均点は〔問題 - 7〕信
用保証協会の保証が 4.61 点、〔問題 - 8〕民事再
生手続への対応が 3.38 点、〔問題 - 9〕取引先の
合併と根抵当権が 2.20 点、〔問題 - 10〕手形貸付
先の延滞対応が 2.50 点で、全般的に低調でした。

全体的に平均点は低くなかったものの、とくに
〈手形・小切手〉〈融資〉の分野では白紙答案が非
常に多かったことが特徴的でした。これは学習し
ていない受験者は対応できず、しっかり学習して
きた受験者が得点できたことを示していると考え
られます。自身の担当業務に関する分野を中心に
学習するだけでなく、金融法務を全般的に学習し、
担当していない業務の法的な問題にもある程度対
応できるよう万遍なく学習することが重要です。

■法務 3 級

「法務 3 級」の成績結果は、〔表 - 2〕のとおり
です。

応募者数 27,416 名中受験者は 24,466 名で、合
格者は 7,412 名でした。合格率は 30.30%、平均

〔表 - 1〕法務 2 級・業態別成績一覧表

（合格点は 50 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生・保 損保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	179	2,608	270	419	2,192	124	212	58	7	0	16	645	6,730
応募比率	2.66	38.75	4.01	6.23	32.57	1.84	3.15	0.86	0.10	0.00	0.24	9.58	100.00
受験者数	157	2,200	187	307	1,897	99	184	45	4	0	13	378	5,471
受験率	87.71	84.36	69.26	73.27	86.54	79.84	86.79	77.59	57.14	0.00	81.25	58.60	81.29
合格者数	65	636	76	62	440	18	69	8	2	0	5	164	1,545
合格率	41.40	28.91	40.64	20.20	23.19	18.18	37.50	17.78	50.00	0.00	38.46	43.39	28.24
平均点	47.46	41.69	44.97	39.27	40.31	39.40	45.55	35.80	51.25	0.00	45.31	46.27	41.73
年齢	26.5	31.8	33.3	37.0	37.3	38.1	37.9	36.8	32.3	0.0	44.1	34.2	34.4
勤続年数	3.6	8.7	10.0	13.9	14.2	14.2	14.5	12.7	11.5	0.0	22.7	9.4	11.3

点は50.99点で、前回（2017年6月）に比べて、合格率は2.4ポイント下がり、平均点も1.28点下がりました。

最高点は100点で、村田陽介さん（三井住友銀行）、岩部文香さん（鳥取銀行）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、次のとおりです。

〈預金〉の分野では〔問－10〕預金の差押え（29.20%）の1問、〈融資〉の分野については〔問－25〕根抵当権の元本の確定（23.12%）、〔問－29〕消滅時効の中断（21.57%）、〔問－33〕破産手続（21.92%）、の3問、〈手形・小切手〉の分野では、〔問－41〕裏書等の抹消（28.23%）の1問、〈銀行取引関連法〉の分野についてはなく、計5問でした。

〈預金〉の分野では差押え、〈融資〉の分野では抵当権・根抵当権、時効、譲渡担保、差押・転付命令、倒産法等は、受験者が苦手としている傾向

にあります。難しく大変かと思いますが、いずれも実務でも活きる知識となりますので、積極的に学習するようにしてください。

また、別途ご案内のとおり、「法務3級」試験につきましては、2018年6月試験（第140回）より出題科目が変わります。しかし、基本的な出題内容やレベルには大きな変更はありません。手形・小切手など取扱量が減少している科目の問題減少、ならびに多様化している銀行取引関連法の問題を増やし、実務にあわせた変更としました。また、各科目40%以上の得点を必須とする得点取得要件も廃止します。ご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

法務4級

「法務4級」の成績結果は、〔表－3〕のとおりです。

応募者数3,772名中受験者は3,574名で、合格者は2,597名でした。合格率は72.66%、平均点

〔表－2〕法務3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	1,115	8,874	782	2,835	6,182	1,378	2,278	715	11	4	470	2,772	27,416
応募比率	4.07	32.37	2.85	10.34	22.55	5.03	8.31	2.61	0.04	0.01	1.71	10.11	100.00
受験者数	1,064	8,152	623	2,477	5,607	1,228	2,095	649	8	4	409	2,150	24,466
受 験 率	95.43	91.86	79.67	87.37	90.70	89.11	91.97	90.77	72.73	100.00	87.02	77.56	89.24
合格者数	705	2,438	279	610	1,365	243	594	209	3	3	130	833	7,412
合 格 率	66.26	29.91	44.78	24.63	24.34	19.79	28.35	32.20	37.50	75.00	31.78	38.74	30.30
平均点	64.89	51.08	56.68	48.32	48.28	46.68	50.17	51.96	61.75	65.00	51.64	55.07	50.99
年 齢	23.7	25.6	30.2	27.1	27.6	29.0	33.9	30.6	38.5	25.0	38.3	30.5	27.9
勤続年数	0.6	2.8	6.1	4.4	5.0	6.2	10.4	5.2	13.4	1.5	14.4	6.6	4.8

〔表－3〕法務4級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	15	309	0	484	1,462	431	640	170	1	0	3	257	3,772
応募比率	0.40	8.19	0.00	12.83	38.76	11.43	16.97	4.51	0.03	0.00	0.08	6.81	100.00
受験者数	15	291	0	452	1,406	411	605	161	1	0	2	230	3,574
受 験 率	100.00	94.17	0.00	93.39	96.17	95.36	94.53	94.71	100.00	0.00	66.67	89.49	94.75
合格者数	14	201	0	347	1,117	269	329	143	1	0	1	175	2,597
合 格 率	93.33	69.07	0.00	76.77	79.45	65.45	54.38	88.82	100.00	0.00	50.00	76.09	72.66
平均点	78.27	68.76	0.00	70.85	73.00	67.35	63.08	77.63	86.00	0.00	60.00	72.17	70.23
年 齢	22.7	24.4	0.0	23.1	24.4	23.2	26.2	26.4	47.0	0.0	40.0	31.0	24.9
勤続年数	0.3	1.7	0.0	0.9	2.2	1.5	2.8	1.9	25.0	0.0	12.5	6.1	2.2

は70.23点で、ともに前回はわずかに下回りました。

最高点は100点で、山中葉央さん（高知信用金庫）、塩沢奈津実さん（個人申込）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が40%以下となった問題は、次のとおりです。

〈預金〉の分野では、〔問－12〕当座勘定取引の終了の1問、〈手形・小切手〉の分野では、〔問－33〕手形の依頼返却の1問、〈融資〉の分野では、〔問－5〕抵当権、〔問－6〕根抵当権、〔問－9〕預金担保の3問で計5問でした。

このうち、〈預金〉の分野の〔問－12〕は当座勘定取引の終了事由および解約の効力が生じる時期について問うものでした。当座勘定取引契約の本質は委任契約であるため、当座勘定取引先（委任者）について破産手続開始決定があったときは、当座勘定取引はただちに終了することとなります。当座勘定規定における取引の解約についての定めとあわせて、民法の委任の終了事由についてあらためて確認し、知識の見直しを行ってください。

また、別途ご案内のとおり、2018年10月試験（第141回）より、科目構成が変わります。〈融資〉〈内国為替〉を必須科目とし、各科目につき40%以上の得点取得要件は廃止します。ご承知おきくださいよう、お願い申し上げます。

財務2級

「財務2級」の成績結果は、〔表－4〕のとおりです。

応募者数8,423名中受験者は6,417名で、合格者は2,385名でした。合格率は37.17%、平均点は51.25点で、ともに前回（2017年6月）を大きく上回りました。

最高点は99点で、小川一晃さん（みずほ信託銀行）、白石梨乃さん（個人申込）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

もっとも平均点が低かった問題は、〔問題－5〕株式資本等変動計算書（平均点：3.50点）でした。次に低かった問題は、〔問題－2〕修正仕訳と連結損益計算書の作成（平均点：3.68点）でした。

〔問題－5〕株式資本等変動計算書は、与えられた資料から仕訳を行ったうえで、株主資本等変動計算書を完成させる問題です。株主資本等変動計算書上、自己株式は株主資本からマイナスして表示するため、増加（取得時）は△を付けるのに対して、減少（処分時）は△を付けない点など、基本的なことを理解していないとミスにつながる問題でした。

〔問題－2〕修正仕訳と連結損益計算書の作成は、損益項目に関する連結修正仕訳と連結損益計算書の作成に関する問題です。頻出のテーマでしたが、全体的に低調な結果となりました。仕訳ができていても連結損益計算書を完成できていない答案が散見されました。収益と費用の各項目が連結損益計算書上のどの区分に計上されるのかを正

〔表－4〕財務2級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	240	3,502	336	815	1,866	82	90	9	30	0	34	1,419	8,423
応募比率	2.85	41.58	3.99	9.68	22.15	0.97	1.07	0.11	0.36	0.00	0.40	16.85	100.00
受験者数	206	2,803	232	608	1,508	61	79	6	22	0	28	864	6,417
受 験 率	85.83	80.04	69.05	74.60	80.81	74.39	87.78	66.67	73.33	0.00	82.35	60.89	76.18
合格者数	124	1,026	107	186	410	24	39	2	15	0	13	439	2,385
合 格 率	60.19	36.60	46.12	30.59	27.19	39.34	49.37	33.33	68.18	0.00	46.43	50.81	37.17
平均点	60.85	51.16	52.96	48.93	46.18	50.08	57.70	44.17	64.18	0.00	53.96	58.39	51.25
年 齢	25.2	30.2	32.0	33.8	35.5	35.9	35.9	30.3	30.8	0.0	38.9	32.5	32.2
勤続年数	2.0	7.3	8.1	10.5	12.9	13.6	12.1	7.2	5.0	0.0	15.6	9.2	9.2

確に理解しておく必要があります。

一方で、〔問題－1〕修正仕訳と損益計算書の作成、〔問題－6〕収益性諸指標による時系列分析、〔問題－7〕判明事項による安全性分析は、過去に類似問題が出題されており、平均点は高くなりました。また、〔問題－8〕ROEと財務レバレッジは、新しいテーマの問題でしたが、日頃の学習の成果を発揮した答案も多く、平均点は高くなりました。

全体の傾向として、計算過程を明示していない、四捨五入の位取りを誤っている、単位の表示を誤っているなど、問題文の指示に沿わない計算結果を示しているミスが散見されましたが、減点の対象となりますので、解答の際は注意してください。

■ 税務3級

「税務3級」の成績結果は、〔表－5〕のとおりです。

応募者数12,875名中受験者は10,861名で、合格者は4,166名でした。合格率は38.36%、平均点は51.93点で、前回（2017年3月）に比べて、合格率は9.2ポイント上回り、平均点も4.52点上回りました。

最高点は98点で、鈴木賢さん、篠田洋一さん、内田欣也さん（以上、個人申込）の3名が個人優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈所得税〉の分野では、〔問－5〕配当所得の金額の計算、

〔問－10〕譲渡所得の計算方法等の2問、〈相続税・贈与税〉の分野では、〔問－34〕上場株式の評価額、〔問－38〕相続時精算課税にかかる贈与税額の計算の2問、〈その他の税金〉の分野では、〔問－48〕法人事業税の課税の1問、〈法人税〉の分野ではありませんでした。

正解率が低かったこれらの問題は、問題解説集に掲載されている過去問と条件設定や出題形式が異なっているものでした。各出題テーマにおける要点を整理できていない受験者には解答が難しかったようです。

その他の出題については概ね良好な結果となりました。所得税、相続税、贈与税、法人税の各分野において出題されている各計算問題は前回よりもよく得点できていました。これらは、税務2級試験の答案作成にあたって理解しておきたいポイントになります。また、本種目の学習の際に習得した知識は、実務においても重要度の高い事項です。学習の際には実務での活用を見据えて、参考書や通信講座を利用することにより体系的に理解を深めることが望まれます。

■ 証券3級

「証券3級」の成績結果は、〔表－6〕のとおりです。

応募者数1,252名中受験者は1,053名で、合格者は436名でした。合格率は41.41%、平均点は54.05点で、前回に比べて、合格率は8.64ポイント下回り、平均点も3.46点下回りました。

〔表－5〕 税務3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	121	4,625	426	1,306	2,338	533	1,066	167	173	2	283	1,835	12,875
応募比率	0.94	35.92	3.31	10.14	18.16	4.14	8.28	1.30	1.34	0.02	2.20	14.25	100.00
受験者数	106	4,097	314	1,093	2,004	420	978	147	108	2	241	1,351	10,861
受 験 率	87.60	88.58	73.71	83.69	85.71	78.80	91.74	88.02	62.43	100.00	85.16	73.62	84.36
合格者数	56	1,642	157	349	612	105	380	63	49	2	107	644	4,166
合 格 率	52.83	40.08	50.00	31.93	30.54	25.00	38.85	42.86	45.37	100.00	44.40	47.67	38.36
平均点	58.74	52.62	55.43	48.91	48.99	46.22	51.90	53.69	54.89	72.00	55.83	55.92	51.93
年 齢	25.5	26.4	28.2	28.6	30.0	32.9	33.5	28.9	34.5	24.0	38.6	31.4	29.2
勤続年数	2.2	3.5	5.0	6.4	7.3	10.1	9.8	6.0	8.9	1.0	15.2	7.3	6.1

最高点は94点で、栗原滋さん（大阪シティ信用金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－16〕国債の発行根拠法等、〔問－20〕地方債、政府関係機関債、〔問－30〕債券の入替売買、〔問－41〕ROE（自己資本利益率）、〔問－43〕証券投資理論、〔問－46〕法人の資金運用に関する税制、〔問－50〕会社法の7問でした。

証券業務、証券発行市場、証券流通市場の各分野は、例年より難度が高い内容や新規の出題も数問含まれていましたが、全般的には良好な結果となりました。とくに問題解説集を繰り返し学習している受験者には得点しやすいものであったようです。〈資金調達・運用、その他〉の分野は、会社法関連の知識、金融商品に関する会計基準、関連税制など、その制度や仕組みについての基本的事項とその要点の整理や、近年の改正動向の把握ができていない受験者には得点するのが難しいものでした。

本種目を受験する際には、金融商品取引関連法規制に関し、ある程度しっかりした知識を身に付けておく必要があります。最近の制度変更に関する問題や、最近の重要な論点も取り上げられますので、法規制の変更の流れ、金融商品取引市場全般の動向も把握しておく必要があります。

外国為替3級

「外国為替3級」の成績結果は、〔表－7〕のとおりです。

応募者数2,997名中受験者は2,533名で、合格者は1,161名でした。合格率は45.83%、平均点は56.92点で、ともに前回（2017年3月）を下回りました。

最高点は90点で、山口ひとみさん（北陸銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－8〕外国為替の与信リスク、〔問－12〕輸出貿易管理、〔問－16〕代金回収方法、〔問－28〕UCP・ISBP

〔表－6〕証券3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	13	539	115	89	95	21	104	10	11	2	3	250	1,252
応募比率	1.04	43.05	9.19	7.11	7.59	1.68	8.31	0.80	0.88	0.16	0.24	19.97	100.00
受験者数	11	480	93	71	78	18	96	10	10	2	3	181	1,053
受 験 率	84.62	89.05	80.87	79.78	82.11	85.71	92.31	100.00	90.91	100.00	100.00	72.40	84.11
合格者数	5	190	56	14	28	2	55	2	0	1	2	81	436
合 格 率	45.45	39.58	60.22	19.72	35.90	11.11	57.29	20.00	0.00	50.00	66.67	44.75	41.41
平均点	56.36	53.58	59.16	46.70	52.31	45.44	60.02	42.00	40.40	65.00	59.33	55.07	54.05
年 齢	28.6	31.3	29.9	33.8	37.7	34.7	30.5	32.0	39.2	23.5	35.0	35.0	32.5
勤続年数	4.4	7.9	5.9	11.7	15.0	12.8	8.1	7.3	19.7	0.0	14.0	10.7	9.1

〔表－7〕外国為替3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	306	1,597	14	194	263	2	1	0	3	0	0	617	2,997
応募比率	10.21	53.29	0.47	6.47	8.78	0.07	0.03	0.00	0.10	0.00	0.00	20.59	100.00
受験者数	283	1,375	11	164	234	2	1	0	1	0	0	462	2,533
受 験 率	92.48	86.10	78.57	84.54	88.97	100.00	100.00	0.00	33.33	0.00	0.00	74.88	84.52
合格者数	178	586	4	71	76	0	0	0	1	0	0	245	1,161
合 格 率	62.90	42.62	36.36	43.29	32.48	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	53.03	45.83
平均点	62.20	55.83	55.64	56.61	52.93	54.00	38.00	0.00	72.00	0.00	0.00	59.13	56.92
年 齢	25.3	29.8	38.1	29.1	33.9	30.5	29.0	0.0	35.0	0.0	0.0	30.2	29.7
勤続年数	2.0	7.0	9.7	6.1	11.2	10.0	6.0	0.0	13.0	0.0	0.0	6.4	6.7

における為替手形の取扱い、〔問－29〕運送書類、〔問－45〕スワップ取引の6問でした。

正解率が30%以下となった問題のなかには、基礎的な知識を問うものも含まれています。基本をしっかりと理解し、その知識を定着させることが重要です。

FA

「ファイナンシャル・アドバイザー」の成績結果は、〔表－8〕のとおりです。

応募者数443名中受験者は379名で、合格者は115名でした。合格率は30.34%、平均点は49.56点で、ともに前回は上回りました。

最高点は83点で、山田裕敏さん（農林中央金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

〈基本知識〉で正解率が30%以下となった問題は、〔問－6〕投資信託の商品性、〔問－14〕成年後見制度、〔問－18〕所得税の各種控除の3問でした。

〈技能・応用〉では、事例Ⅱの変額年金保険において課税される税金の種類とその課税対象額の計算、商品性の記述の問題の得点が低い傾向にありました。

〈基本知識〉〈技能・応用〉ともに税務に関する問題の正解率が前回に続き低い傾向にありましたので、新聞等で税制改正などの把握に努めてください。

今回をもって、「ファイナンシャル・アドバイザー」試験は廃止となります。これまでご受験くださった方は、実務を行ううえで、その知識をご活用いただけましたら幸いです。

AFA

「アシスタント・ファイナンシャル・アドバイザー」の成績結果は、〔表－9〕のとおりです。

応募者数744名中受験者は656名で、合格者は340名でした。合格率は51.83%、平均点は57.90点で、ともに前回は下回りました。

〔表－8〕FA・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	二 信金	信組	信・ 連 農協	労金	生・ 保 損保	証券	郵政	他団体 個人	全 体
応募者数	3	126	1	37	139	42	35	4	4	0	1	51	443
応募比率	0.68	28.44	0.23	8.35	31.38	9.48	7.90	0.90	0.90	0.00	0.23	11.51	100.00
受験者数	3	102	1	34	129	34	32	4	3	0	1	36	379
受験率	100.00	80.95	100.00	91.89	92.81	80.95	91.43	100.00	75.00	0.00	100.00	70.59	85.55
合格者数	2	27	1	9	42	5	8	1	0	0	1	19	115
合格率	66.67	26.47	100.00	26.47	32.56	14.71	25.00	25.00	0.00	0.00	100.00	52.78	30.34
平均点	73.67	48.71	69.00	44.38	50.72	42.76	47.25	52.25	35.00	0.00	60.00	59.22	49.56
年齢	34.7	35.1	48.0	36.1	40.3	38.2	39.1	37.3	25.7	0.0	35.0	43.6	38.4
勤続年数	11.7	12.2	24.0	15.0	16.4	15.7	17.6	13.3	2.0	0.0	11.0	19.6	15.2

〔表－9〕AFA・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	二 信金	信組	信・ 連 農協	労金	生・ 保 損保	証券	郵政	他団体 個人	全 体
応募者数	4	241	0	75	224	74	37	12	0	1	0	76	744
応募比率	0.54	32.39	0.00	10.08	30.11	9.95	4.97	1.61	0.00	0.13	0.00	10.22	100.00
受験者数	3	209	0	64	210	68	35	9	0	1	0	57	656
受験率	75.00	86.72	0.00	85.33	93.75	91.89	94.59	75.00	0.00	100.00	0.00	75.00	88.17
合格者数	1	112	0	30	116	22	15	6	0	0	0	38	340
合格率	33.33	53.59	0.00	46.88	55.24	32.35	42.86	66.67	0.00	0.00	0.00	66.67	51.83
平均点	54.67	58.97	0.00	58.50	59.51	48.24	53.71	59.78	0.00	32.00	0.00	61.79	57.90
年齢	28.0	32.4	0.0	32.6	36.9	33.9	35.1	31.8	0.0	22.0	0.0	37.6	34.6
勤続年数	6.0	9.3	0.0	9.0	13.2	10.5	12.2	9.7	0.0	4.0	0.0	14.3	11.3

最高点は94点で、関口貴弘さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈基本知識〉では、〔問－22〕住宅取得等資金の贈与、〔問－30〕定期借地権の2問、〈技能・応用〉では、〔問－35〕保険金額の算定、〔問－37〕係数を使った資金運用プラン、〔問－42〕老齢基礎年金の保険料納付済期間、〔問－44〕許容延床面積の4問の計6問でした。

今回は、正解率が30%以下となった問題が前回よりも多く、住宅取得等資金の贈与や保険金額の算定といった頻出の問題の正解率がやや低い傾向にありました。

「ファイナンシャル・アドバイザー」試験と同じく、今回で「アシスタント・ファイナンシャル・アドバイザー」試験は廃止となりますが、当種目の知識は実務に必要な知識ですので、身につけたことをぜひ、お役立てください。

■ 預かり資産アドバイザー2級

「預かり資産アドバイザー2級」の成績結果は、〔表－10〕のとおりです。

応募者数1,664名中受験者は1,436名で、合格者は671名でした。合格率は46.73%、平均点は57.22点で、前回に比べて、合格率は7.22ポイント下回り、平均点も2.66点下回りました。

最高点は86点で、寺島和樹さん（北陸銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

〈業務知識〉においては、正解率が30%以下と

なった問題が〔問－1〕わが国の金融市場、〔問－7〕個人向け国債、〔問－13〕投資信託の償還の3問でした。それぞれ難易度の高い問題ではなかったものの、しっかりと理解できていなかったことが低めの正解率になった要因と推測できます。

〈技能・応用〉では、〔問題－30〕外貨建て一時払終身保険の仕組みの平均点が5点を下回りました。図に示されている罫線が何を意味するのかを問う問題でしたが、文章で問われていればわかるものの、図で問われる形に戸惑いがあったのか、平均点が若干伸び悩んだことが残念でした。

今回少し合格率が下がったとはいえ、基本的によく理解されている傾向がうかがえます。残念ながら合格に届かなかった方も、基礎的な力を備えていると推察できます。次回に向けて、知識を積み上げていってください。

■ 年金アドバイザー3級

「年金アドバイザー3級」の成績結果は、〔表－11〕のとおりです。

応募者数10,015名中受験者は8,215名で、合格者は2,852名でした。合格率は34.72%、平均点は49.39点で、ともに前回（2017年3月）とほぼ同様の結果となりました。

最高点は100点で、志賀麻希さん（ゆうちょ銀行 東北エリア本部）、滝澤知幸さん（長野県信用農業協同組合連合会）、田中千尋さん（鹿児島県信用農業協同組合連合会）、熊田倫子さん、福

〔表－10〕 預かり資産アドバイザー2級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	17	997	0	397	129	4	4	29	0	0	0	87	1,664
応募比率	1.02	59.92	0.00	23.86	7.75	0.24	0.24	1.74	0.00	0.00	0.00	5.23	100.00
受験者数	14	881	0	334	113	3	4	21	0	0	0	66	1,436
受 験 率	82.35	88.37	0.00	84.13	87.60	75.00	100.00	72.41	0.00	0.00	0.00	75.86	86.30
合格者数	8	463	0	116	36	2	3	9	0	0	0	34	671
合 格 率	57.14	52.55	0.00	34.73	31.86	66.67	75.00	42.86	0.00	0.00	0.00	51.52	46.73
平 均 点	62.57	59.20	0.00	53.58	50.75	52.00	65.25	54.62	0.00	0.00	0.00	59.73	57.22
年 齢	35.4	35.4	0.0	39.4	36.0	26.0	31.8	36.1	0.0	0.0	0.0	34.1	36.3
勤続年数	13.8	12.2	0.0	15.3	13.5	3.0	9.5	10.6	0.0	0.0	0.0	10.3	12.9

地俊夫さん、長谷部至彦さん、近森拡充さん、倉林太郎さん、菅澤泰佑さん、山崎美保さん、上野一実さん、佐竹保男さん、小松優太さん、石田憲和さん、富岡陽子さん、石田慎人さん、片山奈美さん（以上、個人申込）の17名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－16〕特別支給の老齢厚生年金、〔問－18〕老齢厚生年金の加給年金額、〔問－29〕個人型確定拠出年金、〔問－31〕老齢基礎年金の受給資格期間、〔問－32〕老齢給付、〔問－37〕60歳台前半の在職老齢年金、〔問－38〕高年齢雇用継続給付と在職老齢年金の併給調整、〔問－47〕年金請求手続の8問でした。

いずれも毎回のように出題しているテーマです。

〔問－29〕は、初めて出題する選択肢があったことから、難しい問題でした。

〔問－31〕は、これまでの試験でも低い正解率となることの多いテーマです。

〔問－37〕は、解答に時間がかかる問題です、その意味では難度が高いといえます。

しかし、その他の5問については、意外な結果といえます。

総括として、よく受験対策をされている方が多く、それが丸暗記による方法である方が少なくないという印象を受けます。たとえば、〔問－31〕は年金加入歴等から受給資格期間を数えていくため、完全な丸暗記では正解にたどりつけません。

〔問－38〕は、丸暗記による学習では見落としがちな論点ですが、雇用保険からの給付と年金からの給付の根本的な違いを理解していれば平易な問題です。

せっかく、年金制度等について学習されているのですから、ぜひ、役に立つ知識として身に付けていただきたいと思います。

■ 相続アドバイザー3級

「相続アドバイザー3級」の成績結果は、〔表－12〕のとおりです。

応募者数7,533名中受験者は6,353名で、合格者は2,929名でした。合格率は46.10%、平均点は56.89点で、前回（2017年3月）に比べて、合格率は2.32ポイント上回り、平均点は0.94点上回りました。

最高点は98点で、肥田智恵理さん（あいち知多農業協同組合）、安東万理さん（京都信用金庫）、新井弘昭さん、伊藤佳穂子さん（以上、個人申込）の4名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈相続と金融実務〉分野における〔問－32〕遺産の名義変更手続きの1問のみでした。

前回に引き続き今回も高めの結果となりましたが、前回との大きな違いは、正解率が30%以下となった問題が1つしかなかったことです。問題解説集をベースとして出題傾向をつかむとともに、参考書・通信講座等で全般的な学習を積み重ねた成果が、こうした漏れのない結果に表れてい

〔表－11〕年金アドバイザー3級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	23	947	10	211	982	319	1,398	108	81	1	2,797	3,138	10,015
応募比率	0.23	9.46	0.10	2.11	9.81	3.19	13.96	1.08	0.81	0.01	27.93	31.33	100.00
受験者数	19	765	6	173	849	269	1,274	78	38	1	2,445	2,298	8,215
受 験 率	82.61	80.78	60.00	81.99	86.46	84.33	91.13	72.22	46.91	100.00	87.42	73.23	82.03
合格者数	5	231	4	41	230	48	326	32	16	0	638	1,281	2,852
合 格 率	26.32	30.20	66.67	23.70	27.09	17.84	25.59	41.03	42.11	0.00	26.09	55.74	34.72
平 均 点	47.79	46.18	61.33	42.09	44.58	40.03	43.86	52.85	52.26	48.00	45.02	61.42	49.39
年 齢	31.3	32.3	38.5	32.9	32.8	31.7	33.3	34.0	34.2	45.0	37.7	42.1	36.9
勤続年数	9.4	8.3	13.8	9.0	10.6	9.7	9.8	7.8	10.9	22.0	14.7	14.9	12.3

ます。

合格にいま一步及ばなかった方も、苦手な分野をなるべくなくして相続知識のさらなる吸収に向けて努力していただければ、確実な得点力のアップにつながります。参考図書・通信講座等を副読本としながら、学習効果を上げていってください。

■ 保険販売3級

「保険販売3級」の成績結果は、〔表-13〕のとおりです。

応募者数1,405名中受験者は1,234名で、合格者は435名でした。合格率は35.25%、平均点は52.76点で、ともに前回を下回りました。

最高点は88点で、佐々木誠さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-8〕クーリング・オフ、〔問-9〕個人情報保護法、〔問-10〕フィデューシャリー・デューティー、〔問-12〕終身保険、〔問-14〕こども保険、〔問-

20〕経営者保険、〔問-38〕保険契約の有無と金融機関取引の影響遮断、〔問-43〕保険募集指針、〔問-48〕意向把握義務の9問でした。

〔問-8〕は、よく出題しているテーマであり、基本的な事項を問う問題であったことから意外な結果でした。

〔問-9〕は、よく出題しているテーマであるものの、論点とした事項の難度が高い問題でした。

〔問-10〕は、初めて出題するテーマなので難度が高い問題といえます。

〔問-12〕〔問-14〕は、よく出題しているテーマであり、基本的な事項を問う問題であったことから意外な結果でした。

〔問-20〕は、初めて出題するテーマなので難度が高い問題といえます。

〔問-38〕は、よく出題しているテーマであり、基本的な事項を問う問題であったことから意外な結果でした。

〔表-12〕 相続アドバイザー3級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	62	1,425	48	175	856	159	1,262	84	14	32	1,380	2,036	7,533
応募比率	0.82	18.92	0.64	2.32	11.36	2.11	16.75	1.12	0.19	0.42	18.32	27.03	100.00
受験者数	53	1,192	45	139	756	143	1,144	73	8	31	1,225	1,544	6,353
受験率	85.48	83.65	93.75	79.43	88.32	89.94	90.65	86.90	57.14	96.88	88.77	75.83	84.34
合格者数	31	541	35	54	332	49	512	42	8	5	499	821	2,929
合格率	58.49	45.39	77.78	38.85	43.92	34.27	44.76	57.53	100.00	16.13	40.73	53.17	46.10
平均点	60.26	57.02	68.80	54.47	56.51	52.77	55.72	58.68	72.50	42.32	54.29	60.15	56.89
年齢	37.2	36.2	37.9	35.5	38.4	35.9	37.4	35.6	46.6	28.4	39.7	40.3	38.3
勤続年数	15.1	13.0	13.0	12.0	16.0	13.3	14.6	11.1	27.8	6.7	16.4	14.8	14.6

〔表-13〕 保険販売3級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	27	942	0	87	119	7	31	3	5	0	1	183	1,405
応募比率	1.92	67.05	0.00	6.19	8.47	0.50	2.21	0.21	0.36	0.00	0.07	13.02	100.00
受験者数	26	830	0	81	111	7	27	3	4	0	1	144	1,234
受験率	96.30	88.11	0.00	93.10	93.28	100.00	87.10	100.00	80.00	0.00	100.00	78.69	87.83
合格者数	11	311	0	21	28	1	5	2	2	0	1	53	435
合格率	42.31	37.47	0.00	25.93	25.23	14.29	18.52	66.67	50.00	0.00	100.00	36.81	35.25
平均点	54.77	53.67	0.00	48.89	49.42	49.14	49.04	58.00	61.00	0.00	60.00	52.36	52.76
年齢	31.4	32.2	0.0	33.3	36.3	39.4	32.1	27.7	39.8	0.0	42.0	35.2	33.1
勤続年数	5.5	9.2	0.0	11.1	13.3	9.8	10.2	6.0	18.0	0.0	18.0	12.0	10.0

〔問－43〕は、よく出題しているテーマであるものの、低い正解率になることが多い問題です。

〔問－48〕は、前回初めて出題したときに好成績であったことから、より具体的な内容を問う問題を出題しました。その結果、難度が高い問題となりました。

上記9問のうち、6問は〈保険業務の基礎知識〉〈保険販売業務知識〉に含まれるものです。総じて、商品知識は十分に有しているものの、各種規制等に関する知識が不十分であったといえます。コンプライアンスの点からも、苦手分野の知識も身に付けていただきたいと思います。

■ 営業店管理 I

「営業店管理 I」の成績結果は、〔表－14〕のとおりです。

応募者数 2,159 名中受験者は 1,811 名で、合格者は 621 名でした。合格率は 34.29%、平均点は 56.09 点で、前回に比べて、合格率は 1.39 ポイント下回り、平均点は 0.39 点上回りました。

最高点は 76 点で、金子訓隆さん（りそな銀行）、飯塚元彦さん（京都信用金庫）の 2 名が個人最優秀賞を受賞されました。

10 問中、平均点が低かったのは、〈営業推進〉の分野で出題した〔問題－6〕成長可能性を重視した金融機関の新規融資の取組推進と、〈経営関連一般常識〉の分野で出題した〔問題－9〕フィデューシャリー・デューティー、〔問題－10〕個人ローンの 3 問でした。

〈経営関連一般常識〉の問題はテーマを絞りにくいことが影響してか、例年、平均点が低い結果となっています。日頃から金融機関に関連する情報等をチェックし、その概要にとどまらず、深く掘り下げて理解することが大切です。事務局としては、低い平均点を解消するため、①適切なテーマの設定、②白紙答案の回避に取り組んでいきます。②の具体策としては、事例文内に解答のヒントを加えること、空欄補充や語群選択の形式を用いることなどがあげられます。

本種目の出題範囲は多岐にわたり、学習のポイントを絞りにくい面がありますが、通常の業務等に即した出題となっていますので、日頃から知識の習得を意識してください。

■ 営業店管理 II

「営業店管理 II」の成績結果は、〔表－15〕のとおりです。

応募者数 2,636 名中受験者は 2,335 名で、合格者は 1,184 名でした。合格率は 50.71%、平均点は 59.32 点で、前回に比べて、合格率は 3.26 ポイント上回り、平均点も 0.73 点上回りました。

最高点は 86 点で、今井英幸さん（益田信用組合）が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、〈四択択一式〉と〈記述式〉で構成されています。

〈四択択一式〉で正解率が 30% 以下となった問題は 3 問ありました。なかでも、〔問－10〕男女雇用機会均等法にもとづく性差別等を問う問題に

〔表－14〕 営業店管理 I ・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	134	1,200	1	287	262	16	5	28	0	0	0	226	2,159
応募比率	6.21	55.58	0.05	13.29	12.14	0.74	0.23	1.30	0.00	0.00	0.00	10.47	100.00
受験者数	126	1,009	0	247	213	15	5	21	0	0	0	175	1,811
受 験 率	94.03	84.08	0.00	86.06	81.30	93.75	100.00	75.00	0.00	0.00	0.00	77.43	83.88
合格者数	60	394	0	48	40	4	1	9	0	0	0	65	621
合 格 率	47.62	39.05	0.00	19.43	18.78	26.67	20.00	42.86	0.00	0.00	0.00	37.14	34.29
平均点	58.60	56.67	0.00	54.83	53.12	55.60	53.60	56.43	0.00	0.00	0.00	56.43	56.09
年 齢	42.8	41.8	0.0	44.1	42.7	43.9	46.6	39.3	0.0	0.0	0.0	41.7	42.3
勤続年数	19.2	18.2	0.0	20.8	20.0	20.9	16.3	14.4	0.0	0.0	0.0	17.9	18.8

については、近年、社会的にも関心もたれているテーマですので、いま一度、確認をお願いします。

〈記述式〉では、6問中5問の平均点が5点台、〔問－46〕の平均点が4点台でした。〔問－46〕「与信取引先の業態悪化要因と兆候」のテーマで、日常の融資取引のなかであられる業態悪化の兆候や粉飾決算の手法を問うものでした。債権管理上、押さえておきたい内容ですので、この機会にあらためて確認をお願いします。

〈四択択一式〉で正解率が30%以下となった問題が少なかったことと、〈記述式〉の平均点が5点台であったことが、合格率・平均点ともに前回は上回った要因と考えています。本種目の出題範囲は多岐にわたり、学習のポイントを絞りにくい面がありますが、過去の出題傾向をみながら計画的に学習を進めてください。

■ 事業承継アドバイザー3級

「事業承継アドバイザー3級」の成績結果は、

〔表－16〕のとおりです。

応募者数1,821名中受験者は1,530名で、合格者は505名でした。合格率は33.01%、平均点は53.89点で、前回に比べて、合格率は22.14ポイント下回り、平均点も6.37点下回りました。

最高点は85点で、法月律さん（しずおか信用金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－2〕データで見る事業承継（21.24%）、〔問－7〕適正な利益の把握（27.71%）、〔問－8〕ローカルベンチマークの活用（25.49%）、〔問－11〕遺留分（24.71%）、〔問－31〕種類株式による意思決定のコントロール（17.25%）、〔問－34〕法人成りのメリット・デメリット（22.48%）、〔問－35〕法人成りにおける債務等の取扱い（10.20%）の7問でした。

従来、事業承継では、後継者への株式の集約や節税対策が重視されてきました。しかし昨今では、そのような課題に取り組む前に、企業の経営

〔表－15〕 営業店管理Ⅱ・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	二 信金	信組	信・ 連 農協	労金	生・ 保 損保	証券	郵政	他団体 個人	全 体
応募者数	7	809	1	457	455	64	78	409	0	0	0	356	2,636
応募比率	0.27	30.69	0.04	17.34	17.26	2.43	2.96	15.52	0.00	0.00	0.00	13.51	100.00
受験者数	7	711	0	418	404	60	70	355	0	0	0	310	2,335
受験率	100.00	87.89	0.00	91.47	88.79	93.75	89.74	86.80	0.00	0.00	0.00	87.08	88.58
合格者数	4	399	0	219	157	27	17	177	0	0	0	184	1,184
合格率	57.14	56.12	0.00	52.39	38.86	45.00	24.29	49.86	0.00	0.00	0.00	59.35	50.71
平均点	63.57	60.27	0.00	59.73	56.79	58.08	53.40	59.25	0.00	0.00	0.00	61.46	59.32
年齢	41.1	36.1	0.0	40.1	38.4	43.1	44.9	38.5	0.0	0.0	0.0	38.5	38.3
勤続年数	17.1	12.7	0.0	16.4	15.2	20.6	22.8	14.9	0.0	0.0	0.0	12.7	14.7

〔表－16〕 事業承継アドバイザー3級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	二 信金	信組	信・ 連 農協	労金	生・ 保 損保	証券	郵政	他団体 個人	全 体
応募者数	68	714	14	146	621	55	13	0	1	0	4	185	1,821
応募比率	3.73	39.21	0.77	8.02	34.10	3.02	0.71	0.00	0.05	0.00	0.22	10.16	100.00
受験者数	64	580	10	123	538	48	13	0	1	0	3	150	1,530
受験率	94.12	81.23	71.43	84.25	86.63	87.27	100.00	0.00	100.00	0.00	75.00	81.08	84.02
合格者数	37	226	6	18	151	5	2	0	0	0	0	60	505
合格率	57.81	38.97	60.00	14.63	28.07	10.42	15.38	0.00	0.00	0.00	0.00	40.00	33.01
平均点	59.95	55.64	60.00	50.30	52.39	44.54	49.15	0.00	51.00	0.00	51.33	55.88	53.89
年齢	32.1	35.7	42.8	37.5	41.3	41.4	42.7	0.0	56.0	0.0	45.0	40.9	38.5
勤続年数	8.8	12.5	17.0	14.9	18.3	17.0	17.0	0.0	36.0	0.0	23.0	14.9	15.0

〔表－17〕事業性評価3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	135	2,099	3	656	2,325	452	108	0	3	0	11	348	6,140
応募比率	2.20	34.19	0.05	10.68	37.87	7.36	1.76	0.00	0.05	0.00	0.18	5.67	100.00
受験者数	128	1,919	2	608	2,158	405	100	0	3	0	11	285	5,619
受験率	94.81	91.42	66.67	92.68	92.82	89.60	92.59	0.00	100.00	0.00	100.00	81.90	91.51
合格者数	91	1,033	2	257	864	122	41	0	2	0	3	151	2,566
合格率	71.09	53.83	100.00	42.27	40.04	30.12	41.00	0.00	66.67	0.00	27.27	52.98	45.67
平均点	63.11	59.54	64.00	56.75	56.59	54.55	56.54	0.00	61.33	0.00	50.55	59.05	57.73
年齢	28.2	35.1	32.0	37.0	39.7	39.9	38.8	0.0	45.0	0.0	44.8	38.0	37.5
勤続年数	5.5	12.2	10.0	14.6	16.9	17.0	15.7	0.0	16.3	0.0	18.5	12.7	14.6

状況・経営課題を正確に把握し、事業承継に向けた経営改善を行うことが重要だといわれるようになってきました。正解率が30%以下となった問題のうち、〔問－7〕〔問－8〕はそのような観点から出題されたものです。今後、事業承継の支援者には、株式を引き継ぐための知識だけではなく、企業の価値を引き継ぎ、さらなる発展につなげるための事業承継の知識が求められるものと思われまます。そのような認識をもって学習に臨んでください。

■事業性評価3級

「事業性評価3級」の成績結果は、〔表－17〕のとおりです。

応募者数6,140名中受験者は5,619名で、合格者は2,566名でした。合格率は45.67%、平均点は57.73点で、ともに前回(2017年6月)を下回りました。

最高点は88点で、浜中啓輔さん(札幌信用金庫)が個人最優秀賞を受賞されました。

〈基本知識〉で正解率が30%以下となった問題は、〔問－1〕金融庁の行政方針の理解、〔問－12〕バリューチェーンの理解と分析①、〔問－22〕取引先の強み①、〔問－24〕SWOT分析、〔問

－28〕REVIC(地域経済活性化支援機構)の業務、〔問－39〕中小企業等経営強化法、〔問－43〕バリューチェーンの理解と分析③、〔問－47〕経営改善支援の8問でした。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問－3〕事業性評価の理解①、〔問－6〕事業性評価の取組みプロセス、〔問－16〕地方創生、〔問－23〕取引先の強み②、〔問－25〕経営改善提案、〔問－27〕事業再生期の課題認識と支援・協力のあり方、〔問－30〕資金使途の把握、〔問－31〕日本型金融排除、〔問－32〕再生計画書の策定、〔問－37〕地域金融機関としてのコンサルティング機能の発揮、〔問－38〕事業性評価を主眼とするモニタリング、〔問－42〕バリューチェーンの理解と分析②の12問でした。

本試験は昨今の金融行政の流れもふまえ、金融機関の行職員が事業性評価にもとづき取引先企業の業績維持・向上のために適切なソリューションを提案するまでの基礎知識・実務知識を測定するための試験として、今回で連続2回目の実施です。各金融機関の関心の高さから、2017年度は3月、2018年度は6月、10月と5回連続で実施しますので、ぜひご活用ください。